

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：情報化推進費

事業名 システム運用支援業務費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

総務部 情報システム課 情報システム係 電話番号：058-272-1111(内 2278)

E-mail：c11120@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 80,520 千円 (前年度予算額：80,520 千円)

※長期継続契約： 321,348 千円 (H30～R4)

479,514 千円 (R4～R8) (新)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その 他	県 債	一 般 財 源
前年度	80,520	0	0	0	0	0	0	0	80,520
要求額	80,520	0	0	0	0	0	0	0	80,520
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

大規模システムである総合財務会計システム、公共事業執行支援システム、文書管理・電子調達システム、職員用パソコン、メール等を全職員が支障なく利用するためには、専任窓口体制であるヘルプデスクの継続維持が必須である。

また、国のDX政策への対応、県庁舎建替えに合わせたICT環境の整備や情報システムの移転等、様々な課題解決において、県職員だけで対応することが困難なため、ITに関して精通した知見や経験、他団体や他業種での事例や実績等を豊富に有する外部業者の助言等の支援が必要となっている。

(2) 事業内容

○システム運用支援業務委託（平成30年度契約）

<契約内容>

- ・履行期間：平成30年12月19日から令和5年3月31日まで
- ・契約先：アクセント株式会社
- ・契約額：321,348,000円
- ・委託内容
システム利用者支援業務（ヘルプデスク・パソコン障害対応等）
システム最適化支援業務（導入審査委員会支援・セキュリティ監査支援等）
※平成30年度は引継ぎのみのため、経費は発生していない。

<全体事業費>

（単位：千円）

区分	H30	H31	R2	R3	R4	合計
委託料	0	79,788	80,520	80,520	80,520	321,348

○システム運用支援業務委託（令和4年度調達分）

<委託内容>

- ・履行期間：令和5年1月1日から令和8年9月30日まで
- ・システム利用者支援業務
ヘルプデスク業務、各種問合せ、障害対応等
- ・DX推進支援業務（旧システム最適化支援業務）
DX戦略の支援、情報システム導入審査支援等
※令和4年度は引継ぎのみのため、委託料は発生しない。

<全体事業費>

（単位：千円）

区分	R4	R5	R6	R7	R8	合計
委託料	0	137,004	137,004	137,004	68,502	479,514

(3) 県負担・補助率の考え方

10 / 10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	80,520	システム利用者支援及びシステム最適化支援に係る費用
合計	80,520	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

※ 長期継続契約：479,514 千円（R4～R8）（新）

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

総合財務会計システム等の大規模システムや各種パソコン、メール等の利用方法について、職員からの質問を一元的に受け付け、対応する窓口を整備する。

また、庁内及び市町村におけるDXを推進するための戦略立案や企画には、高度な専門知識や経験が必要となるため、その支援のためのコンサルティングの窓口を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

業務が多種多様なため、指標設定が困難。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	職員からの問合せ等にヘルプデスクが対応することにより、スムーズな解決となり、職員の業務の手助けとなった。 DX計画の支援、業務システムを立ち上げるときの技術的な支援で成果があった。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価)	庁内や市町村に向けて、業務の効率化や感染対策など DX 推進を核とした支援（コンサルティング）が必要
3	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<p>庁内及び市町村における DX を推進するための戦略立案や企画には、高度な専門知識や経験が必要となるため、その支援のためのコンサルティングの窓口を整備する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	